



B.LEAGUE

MONTHLY MARKETING REPORT

2018-19 SEASON

(RS終了(B1:第36節、B2:第32節)時)

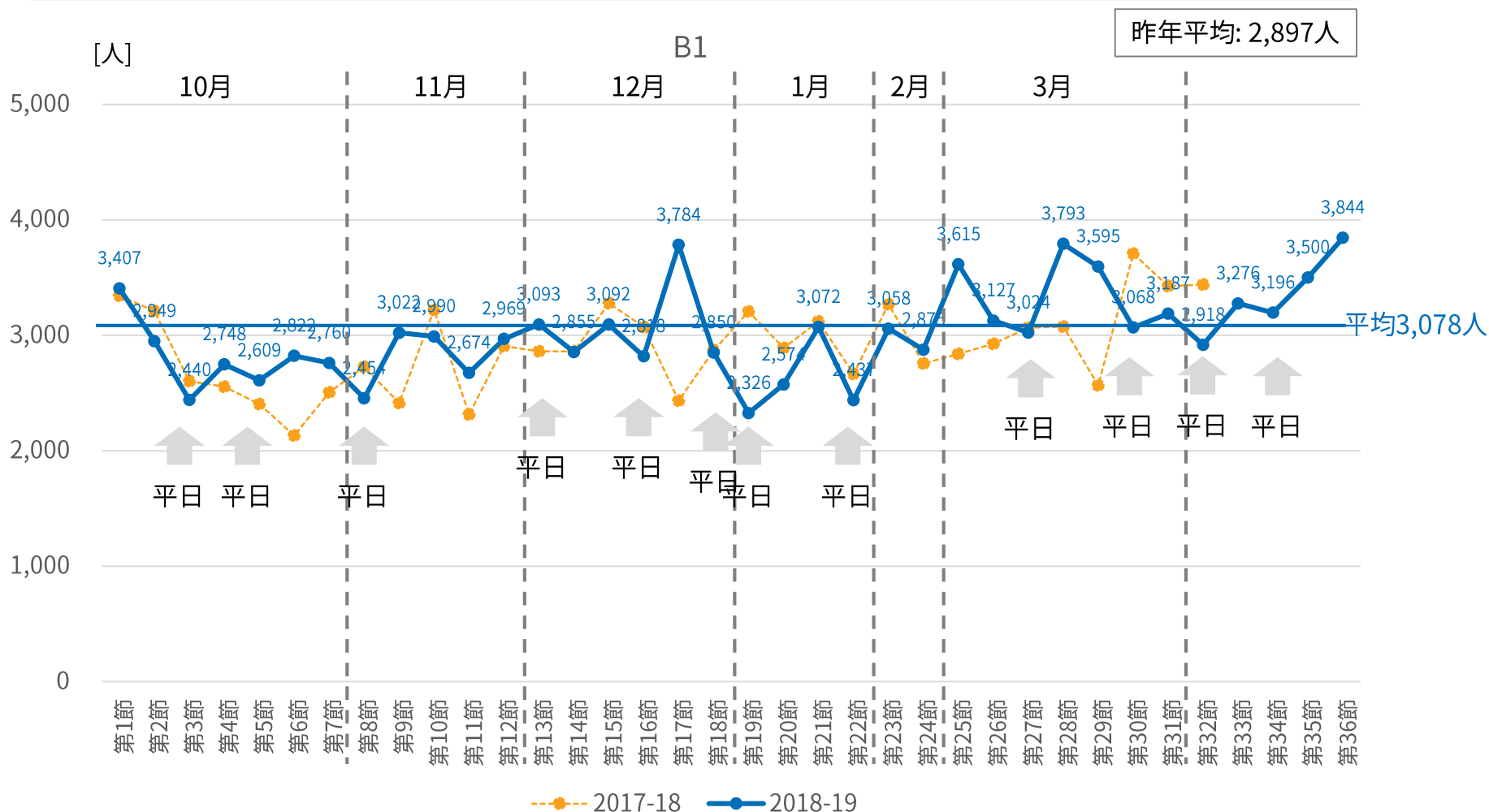
May 28, 2019

AGENDA

- I. 入場者状況
- II. SNS状況

B1 入場者数全体

B1入場者数は平均3,078人で昨年比 6% 増加



平均入場者ランキング: B1



千葉は平均入場者数5,204人と過去最高。
3,000人超も10クラブに。昨対比増加は最終的に12クラブ。

2017-18シーズン

1	千葉ジェッツ	5,196
2	レバンガ北海道	3,743
3	栃木ブレックス	3,653
4	琉球ゴールデンキングス	3,344
5	横浜ビー・コルセアーズ	3,102
6	新潟アルビレックスBB	3,092
7	川崎ブレイブサンダース	3,056
8	大阪エヴェッサ	3,007
9	秋田ノーザンハピネッツ	2,897
10	シーホース三河	2,866
11	富山グラウジーズ	2,731
12	名古屋ダイヤモンドドルフィンズ	2,652
13	サンロッカーズ渋谷	2,575
14	アルバルク東京	2,507
15	滋賀レイクスターズ	2,326
16	京都ハンナリーズ	2,092
17	三遠ネオフェニックス	2,088
18	ライジングゼファー福岡	1,717

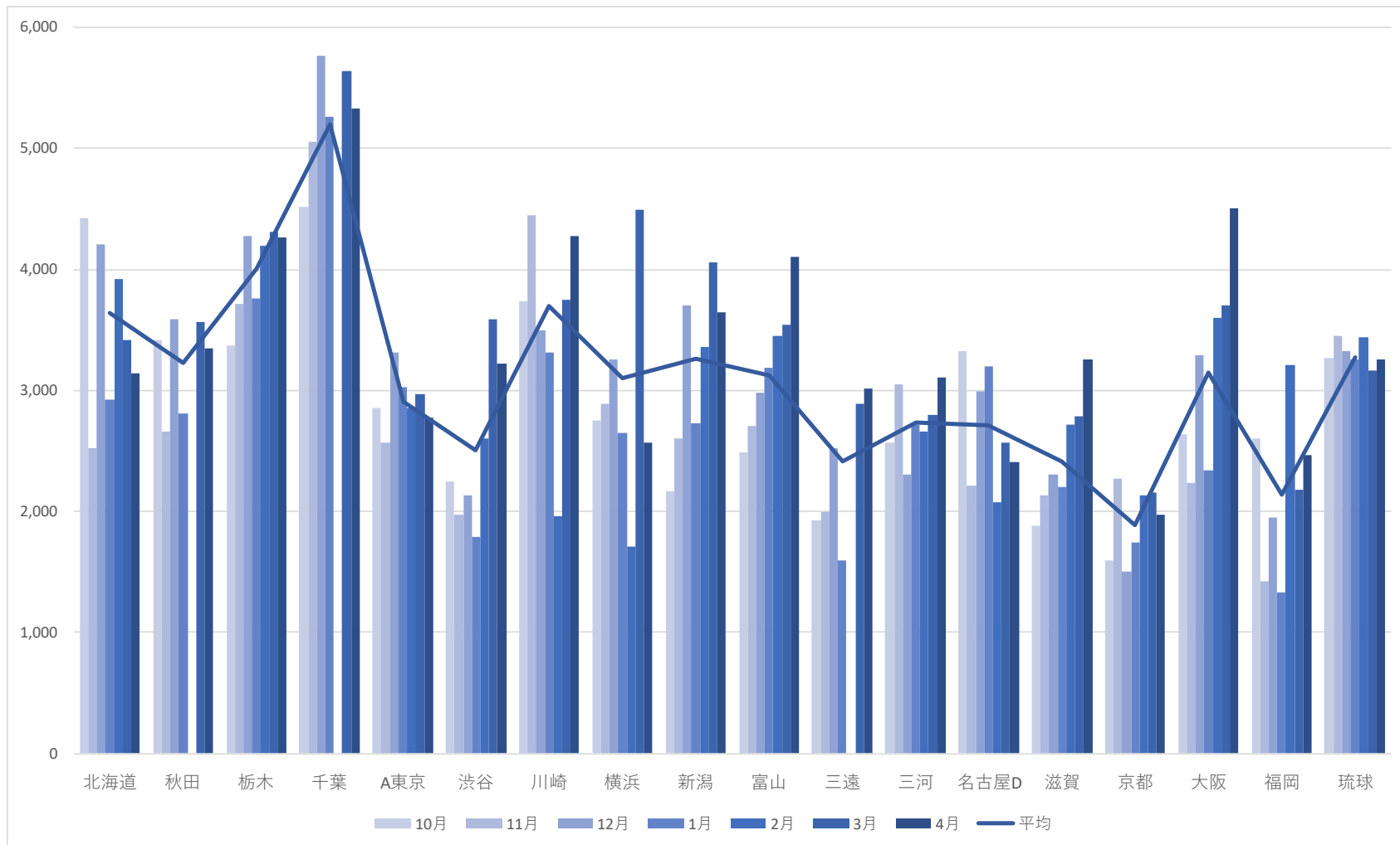
2018-19シーズン

千葉ジェッツ	5,204	+0.2%
栃木ブレックス	4,004	+9.6%
川崎ブレイブサンダース	3,701	+21.1%
レバンガ北海道	3,637	-2.8%
琉球ゴールデンキングス	3,278	-2.0%
新潟アルビレックスBB	3,266	+5.6%
秋田ノーザンハピネッツ	3,227	+11.4%
大阪エヴェッサ	3,150	+4.8%
富山グラウジーズ	3,121	+14.3%
横浜ビー・コルセアーズ	3,097	-0.2%
アルバルク東京	2,901	+15.7%
シーホース三河	2,738	-4.5%
名古屋ダイヤモンドドルフィンズ	2,710	+2.2%
サンロッカーズ渋谷	2,507	-2.6%
三遠ネオフェニックス	2,417	+15.8%
滋賀レイクスターズ	2,417	+3.9%
ライジングゼファー福岡	2,138	+24.5%
京都ハンナリーズ	1,890	-9.7%

赤字は昨年比増加したクラブ

月間平均入場者:B1

4月は富山、三遠、三河、滋賀、大阪が単月で最多。
栃木、千葉、川崎、富山、大阪が平均4,000人超を達成



詳細入場者数：B1

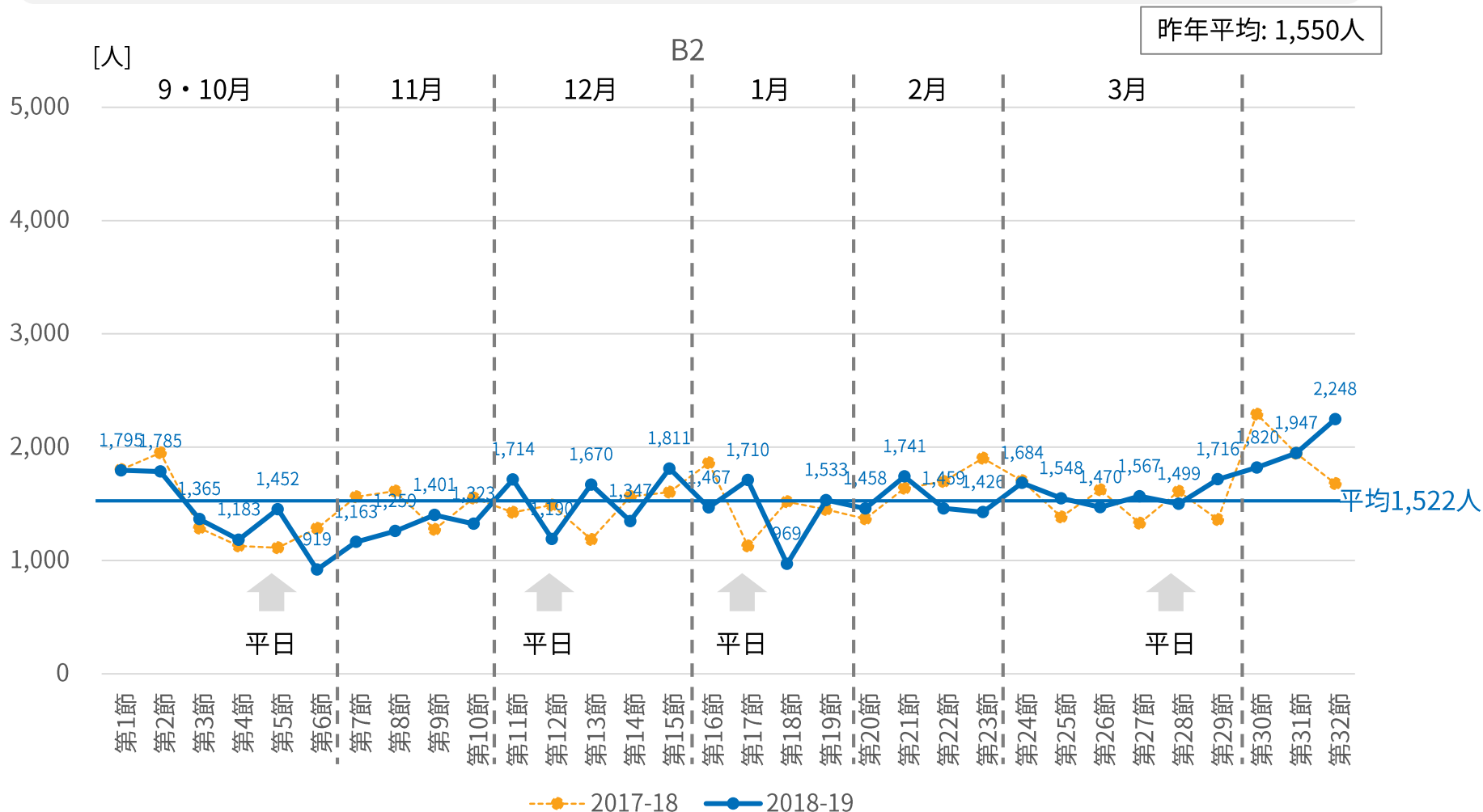
全体として**メイン>サブ**、**土日祝>平日**の傾向
昨対比ではいずれも増加しているが、**サブ・土日祝が大幅な増加**

	土日祝	平日	合計
メイン	3,286 (3,103)	2,815 (2,694)	3,161 (3,033)
サブ	2,852 (2,344)	2,612 (2,557)	2,792 (2,380)
合計	3,187 (2,944)	2,772 (2,665)	3,078 (2,897)

()内の数字は2017-18シーズン

B2 入場者数全体

B2入場者数は平均1,522人で昨年比 2% 減少



平均入場者ランキング:B2



B2で2,500人超は過去最高。昨年比増加は9クラブ

2017-18シーズン

1	島根スサノオマジック	2,239
2	仙台89ERS	2,152
3	熊本ヴォルターズ	2,151
4	広島ドラゴンフライズ	1,946
5	西宮ストークス	1,868
6	山形ワイヴァンズ	1,713
7	Fイーグルス名古屋	1,605
8	茨城ロボッツ	1,592
9	青森ワッツ	1,587
10	福島ファイヤーボンズ	1,441
11	アースフレンズ東京Z	1,401
12	信州ブレイブウォリアーズ	1,388
13	群馬クレインサンダーズ	1,355
14	バンビシャス奈良	1,007
15	金沢武士団	982
16	香川ファイブアローズ	965
17	八王子ビートレインズ	943
18	愛媛オレンジバイキングス	934

2,000人超



2018-19シーズン

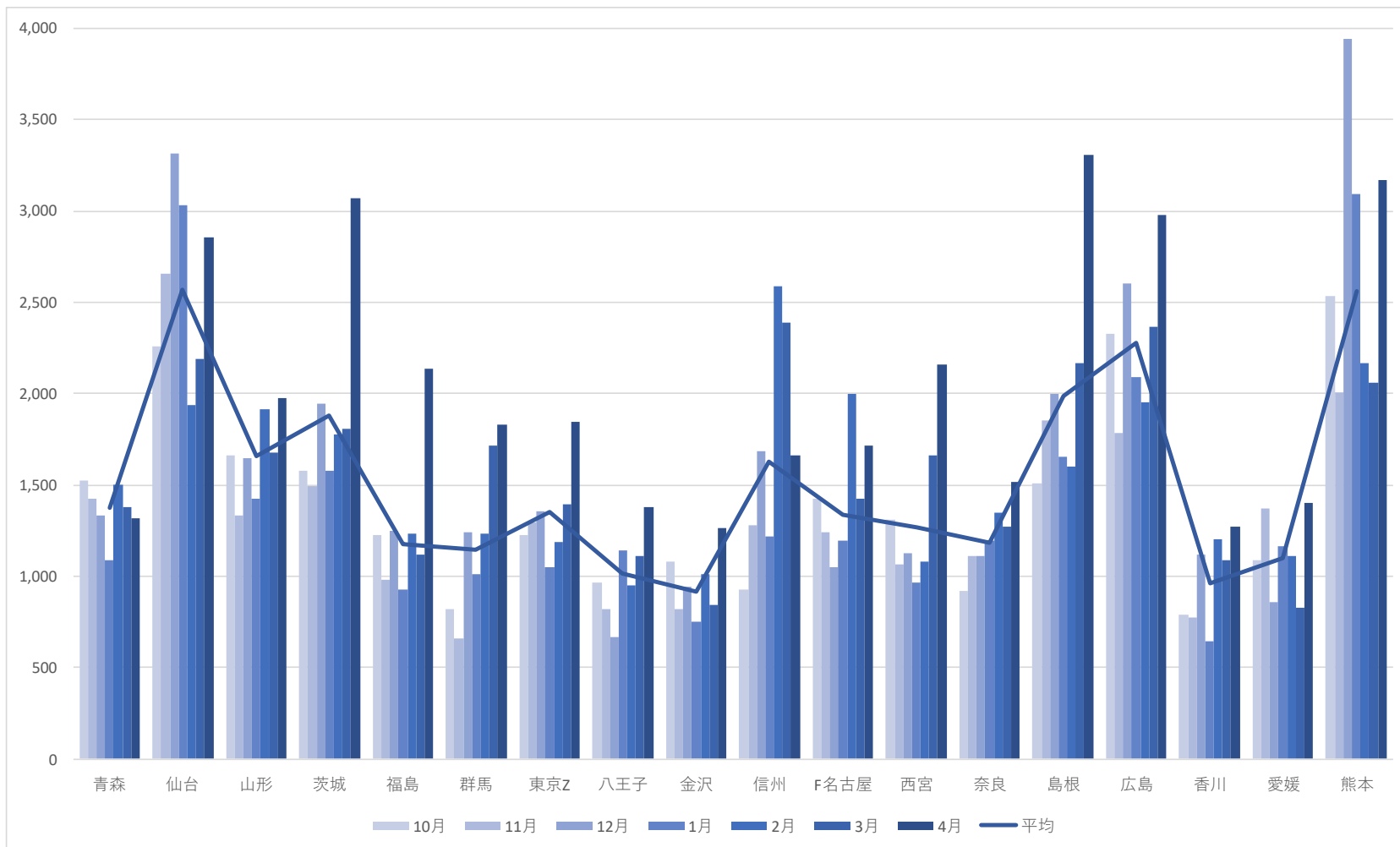
仙台89ERS	2,567	+19.3%	
熊本ヴォルターズ	2,559	+19.0%	2,000人超
広島ドラゴンフライズ	2,280	17.2%	
島根スサノオマジック	1,991	-11.1%	
茨城ロボッツ	1,879	+18.0%	
山形ワイヴァンズ	1,659	-3.2%	
信州ブレイブウォリアーズ	1,626	+17.1%	
青森ワッツ	1,377	-13.2%	
アースフレンズ東京Z	1,351	-3.5%	
Fイーグルス名古屋	1,337	-16.7%	
西宮ストークス	1,271	-32.0%	
バンビシャス奈良	1,187	+17.9%	
福島ファイヤーボンズ	1,177	-18.4%	
群馬クレインサンダーズ	1,143	-15.6%	
愛媛オレンジバイキングス	1,101	+17.9%	
八王子ビートレインズ	1,016	+3.5%	
香川ファイブアローズ	966	+0.1%	
金沢武士団	914	-3.1%	



赤字は昨年比増加したクラブ

月間平均入場者:B2

13クラブ（山形、茨城、福島、群馬、東京Z、八王子、金沢、西宮、奈良、島根、広島、香川、愛媛）が単月で最多。
仙台、茨城、福島、西宮、島根、広島、熊本が2,000人超



詳細入場者数：B2

全体としてメイン>サブ、土日祝>平日の傾向
昨対比ではメインでの平日で増加した

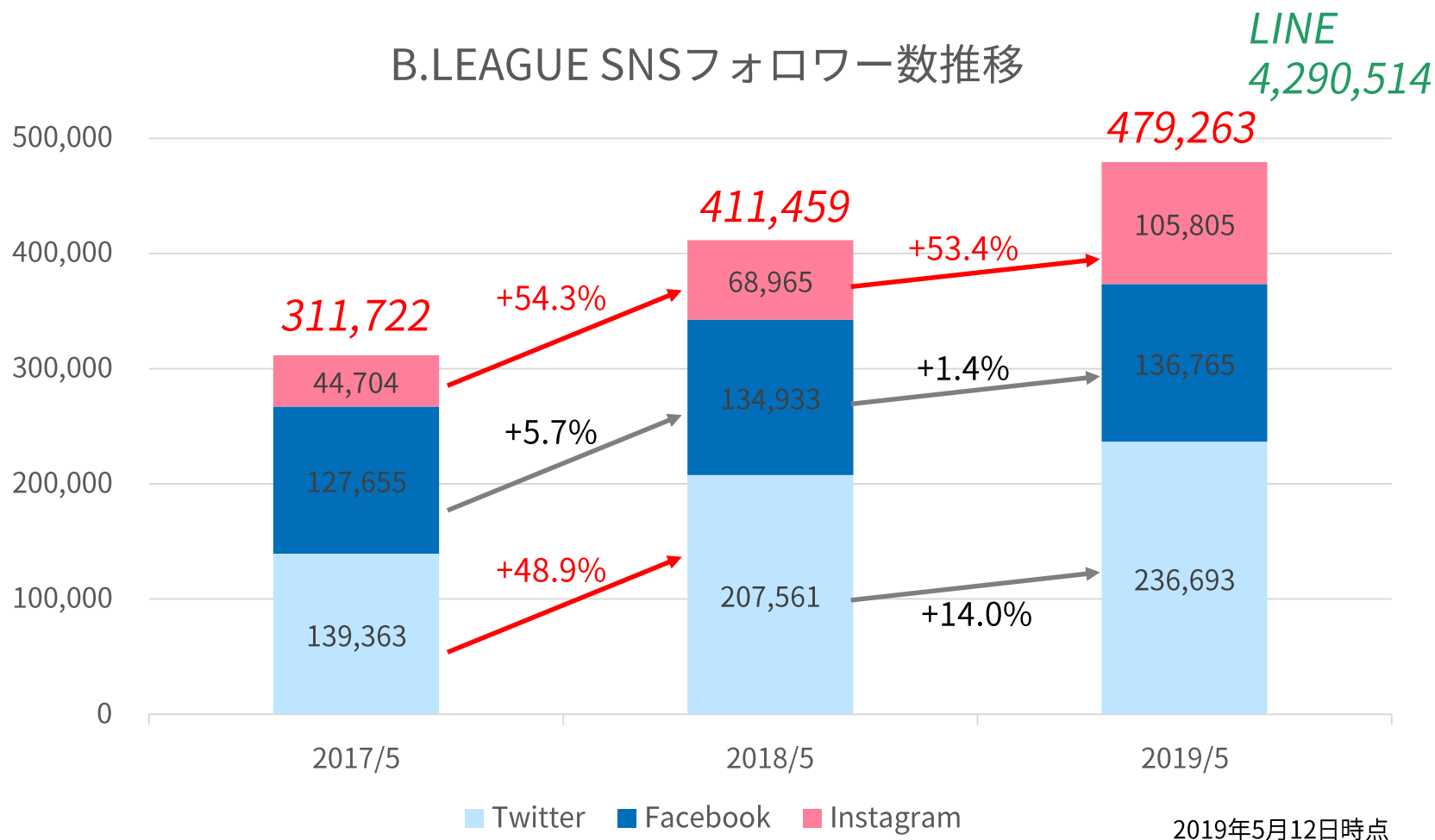
	土日祝	平日	合計
メイン	1,632 (1,667)	1,400 (1,363)	1,589 (1,619)
サブ	1,459 (1,479)	944 (1,032)	1,392 (1,426)
合計	1,571 (1,598)	1,278 (1,266)	1,522 (1,550)

()内の数字は2017-18シーズン

B.LEAGUE SNSフォロワー数の推移



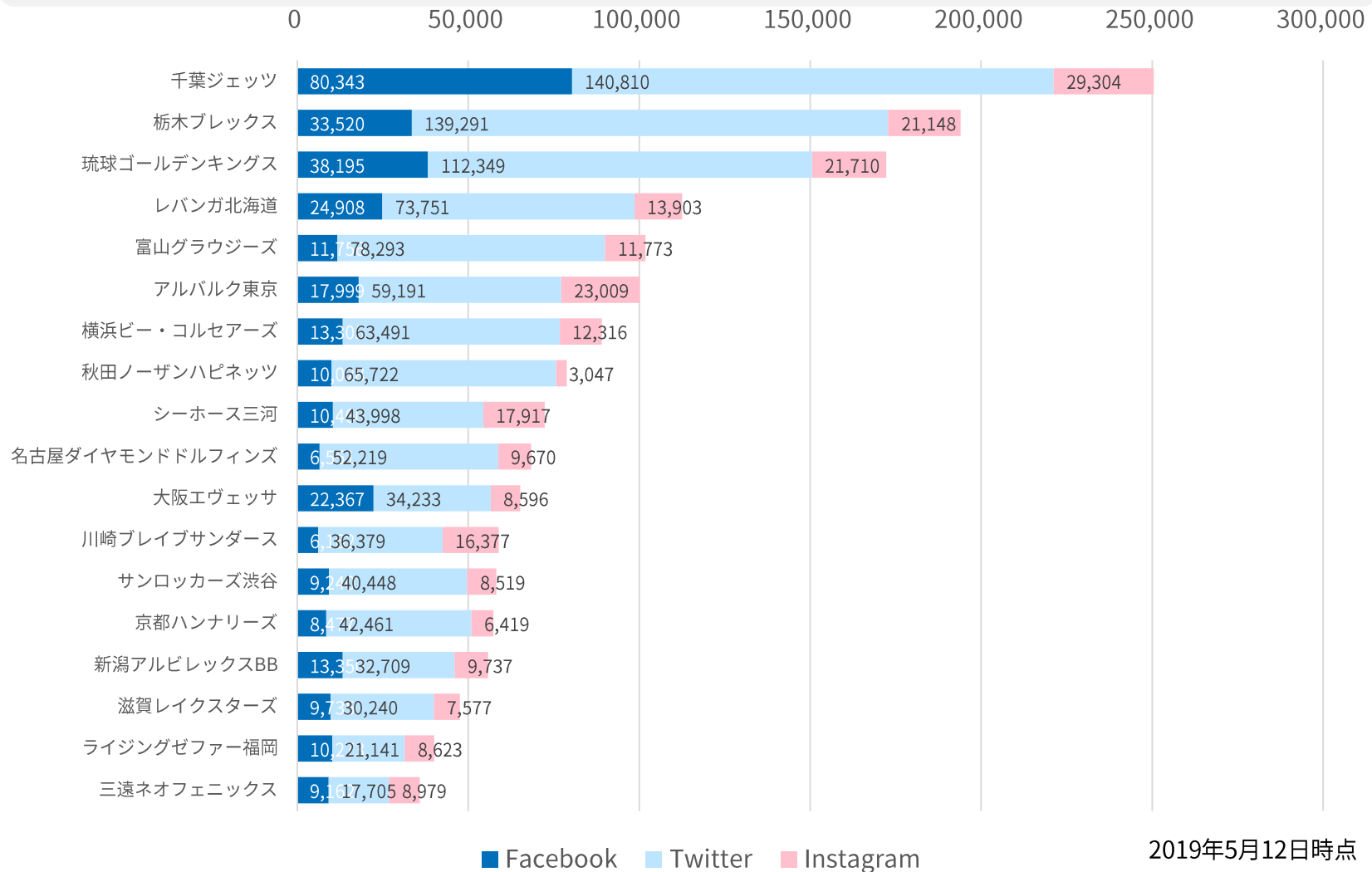
LINE除くSNS全フォロワー数は48万人達成間近で年間16%成長。
Instagramが10万人達成、最も成長率が高い



B1クラブ別SNSファン数



B1最多SNSファン数は **千葉** で約25万達成

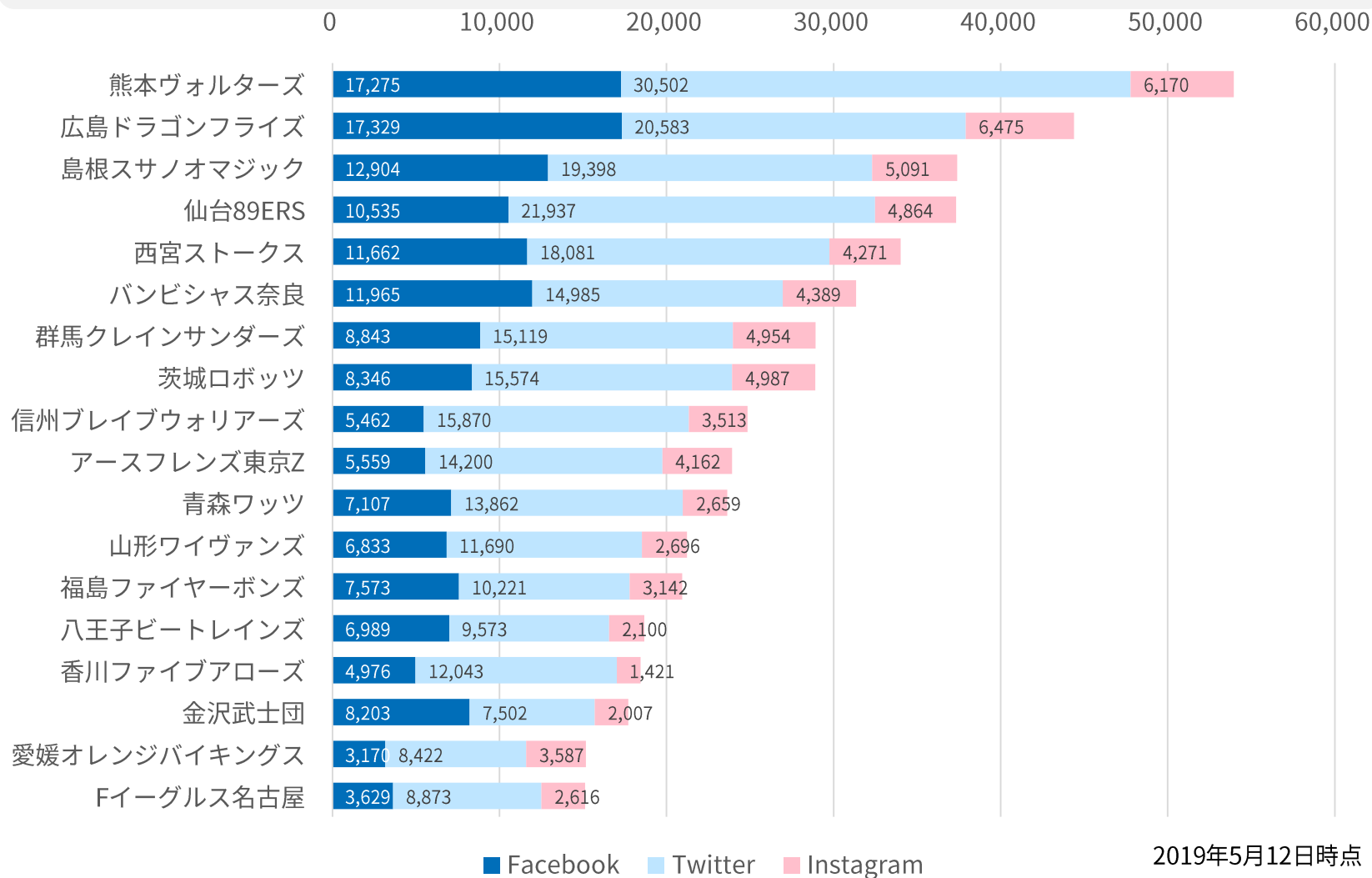


2019年5月12日時点

B2クラブ別SNSファン数



B2最多SNSファン数は **熊本** で約5万人



2019年5月12日時点

クラブ別SNSファン数 月間増加



Twitter, Instagram中心に増加の傾向は変わらず。

B1：CS出場クラブを中心に増加

B2：B2プレーオフ出場クラブを中心に増加

B1

クラブ名	Facebook	Twitter	Instagram	Total
千葉ジェッツ	2	2,418	2,566	4,986
アルバルク東京	234	2,225	1,965	4,424
琉球ゴールデンキングス	93	2,751	1,356	4,200
栃木ブレックス	98	1,665	1,827	3,590
川崎ブレイブサンダース	141	1,441	1,248	2,830
レバンガ北海道	824	861	814	2,499
新潟アルビレックスBB	81	1,362	796	2,239
富山グラウジーズ	60	970	752	1,782
名古屋ダイヤモンドドルフィンズ	66	775	553	1,394
滋賀レイクスターズ	32	792	538	1,362
シーホース三河	22	820	490	1,332
横浜ビー・コルセアーズ	12	723	504	1,239
サンロッカーズ渋谷	37	751	400	1,188
大阪エヴェッサ	-14	608	477	1,071
ライジングゼファー福岡	59	523	375	957
京都ハンナリーズ	21	562	243	826
三遠ネオフェニックス	11	465	267	743
秋田ノーザンハピネッツ	28	618	92	738

B2

クラブ名	Facebook	Twitter	Instagram	Total
熊本ヴォルターズ	104	1,231	489	1,824
信州ブレイブウォリアーズ	115	539	349	1,003
島根スサノオマジック	71	616	253	940
アースフレンズ東京Z	31	191	663	885
茨城ロボッツ	55	400	362	817
仙台89ERS	29	247	335	611
群馬クレインサンダーズ	10	308	194	512
バンビシャス奈良	-8	218	191	401
広島ドラゴンフライズ	-3	154	249	400
愛媛オレンジバイキングス	28	203	136	367
福島ファイヤーボンズ	2	165	169	336
八王子ビートレインズ	21	195	93	309
Fイーグルス名古屋	9	180	119	308
西宮ストークス	1	153	145	299
青森ワッツ	-1	163	131	293
山形ワイヴァンズ	15	124	152	291
金沢武士団	13	195	60	268
香川ファイブアローズ	18	97	70	185

期間：2019年3月31日から2019年5月12日

クラブ別SNSファン数 年間増加



Twitter, Instagram中心に増加。

B1：CS出場クラブ、入場者数上位クラブが上位。川崎は昨対比47%成長。

B2：東京Zが増加数No.1で昨対比53%成長。

B1

クラブ名	Facebook	Twitter	Instagram	Total
アルパルク東京	2,326	8,802	10,315	21,443
千葉ジェッツ	-533	8,232	13,504	21,203
川崎プレイブサンダース	1,079	9,551	8,212	18,842
栃木ブレックス	609	5,667	11,111	17,387
レバンガ北海道	5,244	4,464	5,559	15,267
琉球ゴールデンキングス	138	10,641	3,841	14,620
シーホース三河	185	6,548	5,862	12,595
新潟アルビレックスBB	341	5,541	3,582	9,464
ライジングゼファー福岡	854	4,789	3,804	9,447
富山グラウジーズ	374	4,287	4,184	8,845
大阪エヴェッサ	1,698	3,314	3,756	8,768
滋賀レイクスターズ	145	3,814	4,160	8,119
名古屋ダイヤモンドドルフィンズ	398	3,309	4,311	8,018
サンロッカーズ渋谷	372	4,055	3,292	7,719
横浜ビー・コルセアーズ	358	2,275	4,308	6,941
秋田ノーザンハピネッツ	331	3,363	3,047	6,741
三遠ネオフェニックス	213	3,104	3,240	6,557
京都ハンナリーズ	111	3,020	2,063	5,194

B2

クラブ名	Facebook	Twitter	Instagram	Total
アースフレンズ東京Z	264	3,852	4,162	8,278
熊本ヴォルターズ	130	4,218	3,075	7,423
茨城ロボッツ	498	3,053	2,616	6,167
信州ブレイブウォリアーズ	506	3,326	2,237	6,069
仙台89ERS	205	1,818	3,093	5,116
広島ドラゴンフライズ	125	2,073	2,368	4,566
島根サノオマジック	97	1,855	1,535	3,487
愛媛オレンジバイキングス	214	1,597	1,591	3,402
福島ファイヤーボンズ	104	1,344	1,672	3,120
Fイーグルス名古屋	222	1,560	1,252	3,034
バンビシャス奈良	-55	1,616	1,399	2,960
山形ワイヴアーズ	191	969	1,450	2,610
金沢武士団	94	1,323	1,012	2,429
青森ワッツ	57	1,118	1,188	2,363
群馬クレインサンダース	-27	1,191	1,002	2,166
西宮ストークス	-5	1,167	980	2,142
香川ファイブアローズ	-75	651	535	1,111
八王子ビートレインズ	昨シーズンのデータなし			

期間：2018年5月12日から2019年5月12日



B.LEAGUE

THANK YOU.